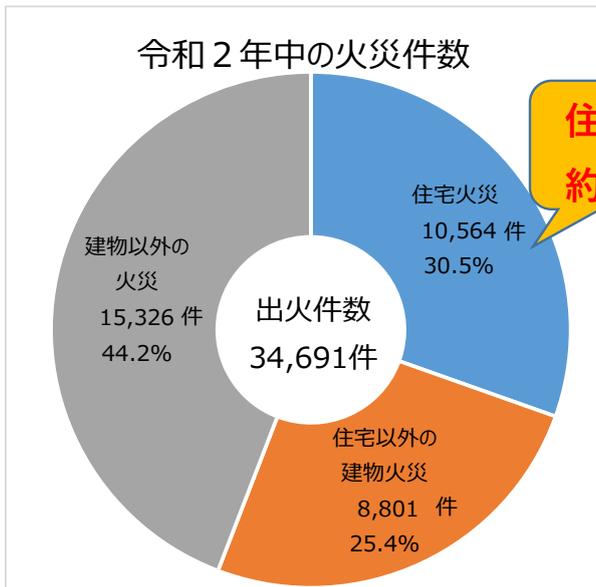


逃げ遅れないために



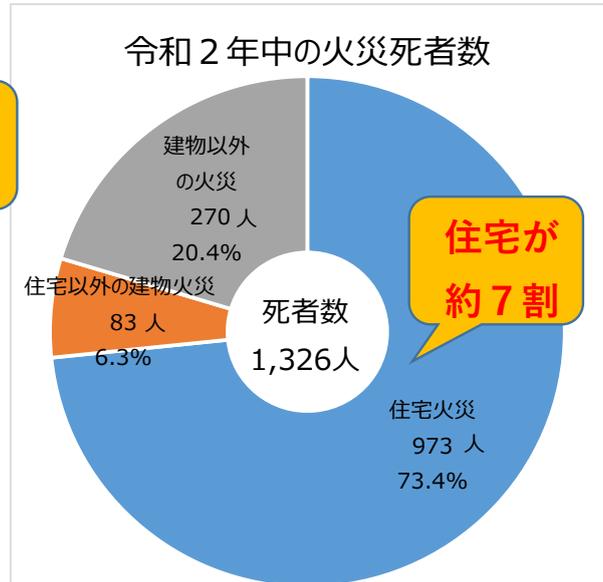
火災の死者の約7割は住宅火災で発生

住宅火災の件数は総出火件数の約3割ですが、住宅火災による死者数は総死者数の約7割を占めています。(全国)



住宅が
約3割

※ 放火を含む全ての火災



住宅が
約7割

※ 放火自殺等を含む全ての死者

住宅用火災警報器の効果は？

住宅火災における被害状況を分析したところ、住宅用火災警報器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ、死者数と焼損床面積は半減、損害額は約4割減した結果となりました。(全国)

住宅用火災警報器の効果

平成30年から令和2年までの3年間における失火を原因とした住宅火災について、火災報告を基に、住宅用火災警報器の効果进行分析。(全国)

※ ここでは、住宅火災のうち原因経過が「放火」、「放火の疑い」であるものを除く件数を、「失火を原因とした住宅火災の件数」としている。

死者、焼損床面積及び損害額を見ると、住宅用火災警報器を設置している場合は、設置していない場合に比べ、死者数と焼損床面積は半減、損害額は約4割減。

住宅用火災警報器を設置すれば、火災発生時の死亡リスクや財産の損失リスクが大幅に減少。



※「死者」とは、火災現場において火災に直接起因して死亡した者であり、火災により負傷した後48時間以内に死亡した者を含む

※ 死者の発生した経過が「殺人・自損」(放火自殺者の巻添者、放火殺人の犠牲者)であるものを除く

住宅防火いのちを守る10のポイント～4つの習慣・6つの対策～

死者の発生した住宅火災の主な原因は、たばこ、ストーブ、こんろです。これらの火災を起こさないために「4つの習慣・6つの対策」を心がけましょう。

住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 2 ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策

- 1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する
- 4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- 5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域の助け合い

住宅火災を知らせる警報器！取替え時期は？

- 住宅用火災警報器の電池の寿命の目安は約10年！
定期的な作動確認を！

住宅用火災警報器は、一般的には電池で動いています。火災を感知するために常に作動しており、その電池の寿命の目安は約10年とされています。

「いざ」というときに住宅用火災警報器が適切に作動するよう、火災予防運動の時期などに、定期的に作動確認を行い、設置後10年を目安に交換しましょう。



住宅用火災警報器

住宅用火災警報器の点検・交換

●点検は定期的に

本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
少なくとも年に2回は点検しましょう。
(春・秋火災予防運動の時期に実施することを推奨)

反応しない場合は、すぐに**交換**しましょう！

●交換の目安は10年

設置から10年以上の場合も**交換**しましょう！

設置年数は、設置の時に記入した設置年月や交換期限で確認できます。
記載がない場合は、製造年でおおよその時期がわかります。



新しく交換する際は、生活に適した機器を！

火災などの危険に対して、より安心できるさまざまな機能を兼ね備えた機器の設置を検討しましょう。

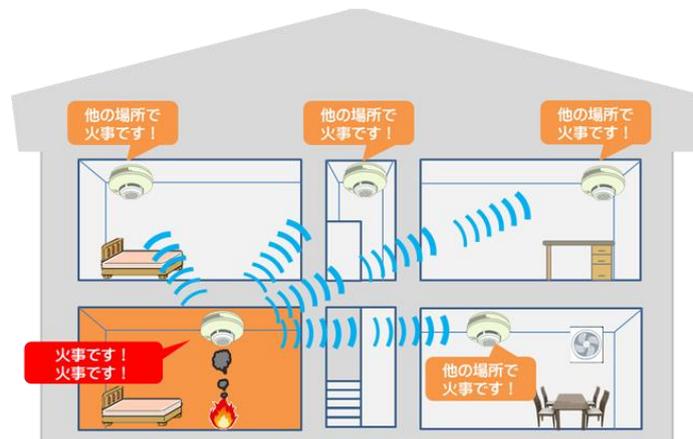
「付加価値のある住宅用火災警報器」のオススメ

<「単独型」と「連動型」があります>

単独型：火災を感知した住宅用火災警報器だけが警報を発します。

連動型：火災を感知した住宅用火災警報器だけでなく、連動設定を行っているすべての住宅用火災警報器が火災信号を受け警報を発します。

なお、連動型には、配線によるものと無線式のものがあります。



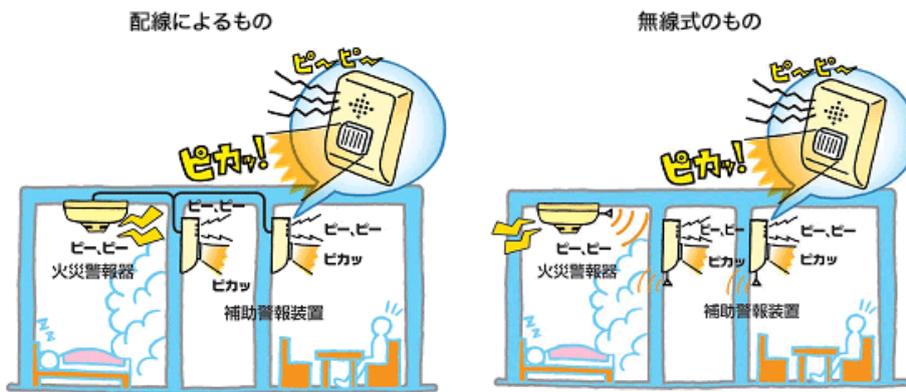
<https://youtu.be/k746GsmATI>



連動型住宅用火災警報器の作動イメージ

<補助警報装置>

高齢者の方、目や耳の不自由な方には、音や光での補助警報装置の増設をおすすめします。



※ イラストのアンテナはイメージです。実際には付いていません。